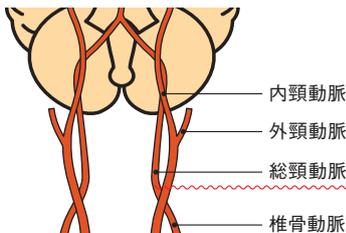
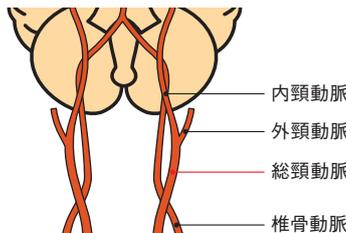


# 『JAMT 技術教本シリーズ 循環機能検査技術教本』 訂正のお知らせ

ご購入いただきました『JAMT 技術教本シリーズ 循環機能検査技術教本』（2015年8月発行 第1刷）におきまして、下記のとおり誤りがございました。深くお詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。

2016年1月29日

## 正誤表

頁	訂正箇所	誤	正
3	図1.1.3		
25	図2.1.8の説明文	Ⅲ誘導, aV <sub>F</sub> 誘導における陰性P波, 深いQ波が認められる。 正しく記録された心電図と比較するとaV <sub>L</sub> とaV <sub>F</sub> 誘導が入れ替わっておりLAとLFのつけ間違いの結果生じた心電図所見である	I誘導, aV <sub>L</sub> 誘導における陰性P波, 深いQ波が認められる。 正しく記録された心電図と比較するとaV <sub>R</sub> とaV <sub>L</sub> 誘導が入れ替わっておりRAとLAのつけ間違いの結果生じた心電図所見である
76	図4.1.10	速伝道路	速伝導路
77	左段上から6行目	図4.1.10	図4.1.13
85	図4.1.24		右から2番目の下向き矢印は削除
89	右段上から12行目	図4.1.29	図4.1.32
91	右段9行目	PQ時間は不変であるが, PQ時間が延長する 場合がある	PQ時間は不変であるか, 延長する 場合がある
93	右段上から9行目	単形性を示すことが多い(図4.1.31, 4.1.32)	単形性を示すことが多い(図4.1.34, 4.1.35)
93	右段上から11行目	複数の起源を有すると考えられる(図4.1.32)	複数の起源を有すると考えられる(図4.1.36)
100	図4.1.50	QRS波形は, 右脚ブロック～	QRS波形は, 左脚ブロック～
104	図4.1.54タイトル	CPDT患者の	CPVT患者の
107	図4.1.60	* : 期外収縮	* : 補充収縮
123	左段上から10行目	(1) 完全右脚ブロックの診断基準(図4.2.8)	(1) 完全右脚ブロックの診断基準(図4.2.9)
128	右段「MEMO」	≥ 2.6mm (中略) ≥ 3.5mm	≥ 0.26mV (中略) ≥ 0.35mV
129	右段下から8行目	2.5mV以上	0.25mV以上
129	右段下から7行目	2mV以上	0.2mV以上
143	右段上から12行目	遺伝子異常, 明らかな器質的疾患を認めない。	さまざまな遺伝子異常が報告されている。 明らかな器質的異常は認めない。
144	図4.5.1右の図	Type1	Type3
147	左段上から4行目	除脈	徐脈
147	左段上から6行目	torsades de points	torsades de pointes
149	左段上から18行目	高カリウム血症, 左室容量負荷, ～	(下線部削除)

また、77頁の図4.1.11につきましては、矢印の位置が不明確でしたので、下の図と差し替えをお願いいたします。

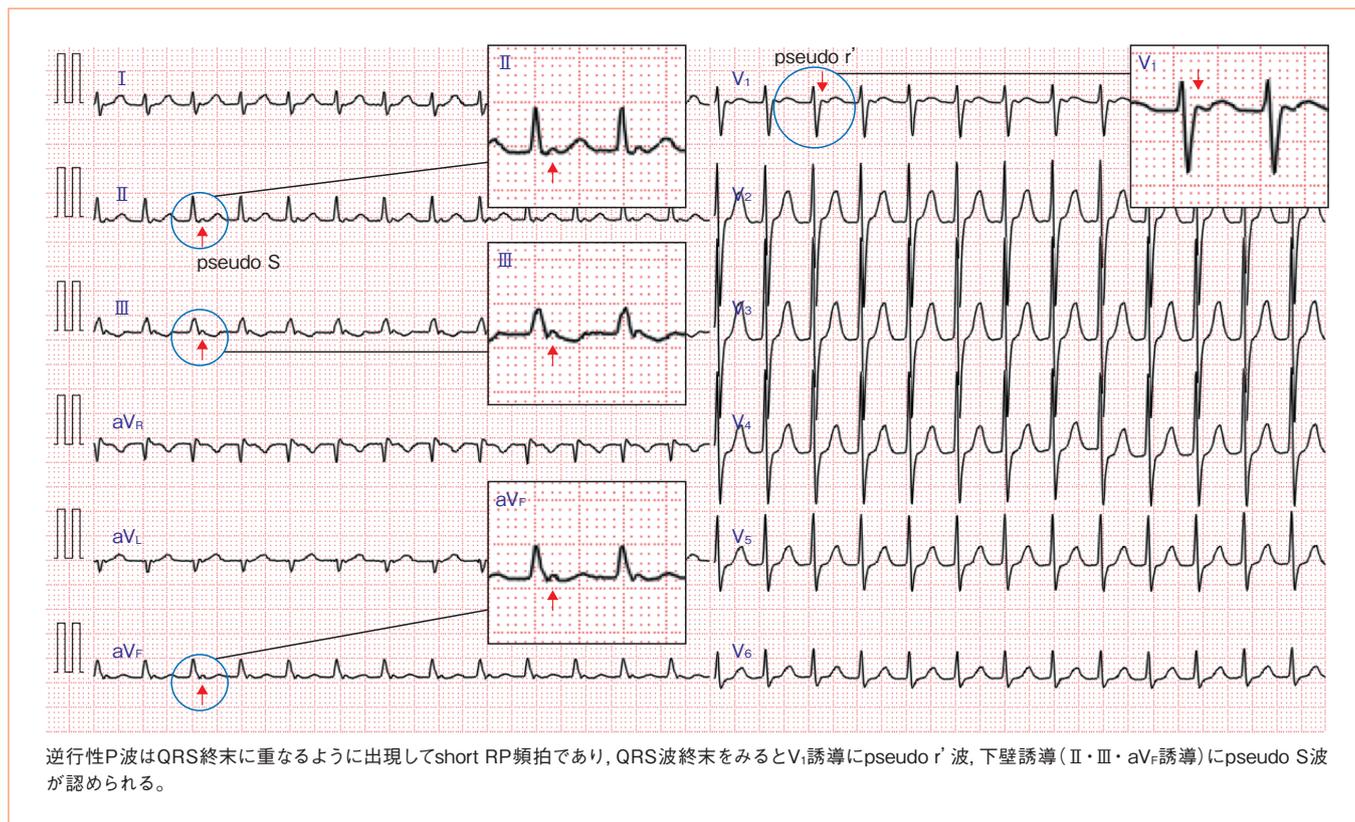


図4.1.11 通常型房室結節リエントリー頻拍の12誘導心電図